



教育長 田中 庸寛

市川市では、例年8月下旬の防災週間に合わせて市民参加型の総合防災訓練を実施しています。しかし、今年は新型コロナウイルス感染拡大を避けるため、8月1日に市職員による感染症に配慮した避難所開設訓練を市川市立全小学校と一部の中学校等にて行いました。年々自然災害による被害が深刻化している中、私たちは常に大規模災害に備えておく必要があります。今一度、自分や家族の安全を守るための確認をしていただきたいと思います。

学校では8月1日から夏休みが始まりました。新しい生活様式における学校生活を過ごしてきた子どもたちにとっては、これまでとは違う夏休みにストレスを感じることもあるでしょう。例年に比べて短期間となりますが、子どもたちが身体的精神的な休養を十分に取得し、充実した夏休みになることを願っております。

夏休みの短縮に伴い、各学校では、6月の学校再開後の学習内容の定着を図るため、休業中の家庭学習の課題の質や量を調整するなど様々な工夫をしています。子どもたちの安全につきましては、大きな事故やけがのないよう、各ご家庭や地域での見守りをお願いいたします。

8月18日からは、2学期が始まります。引き続き、子どもたちの心に寄り添い、夏休み明けの学校生活に焦らず徐々に馴染んでいかれるよう、子どもたちの心の安定を図っていきます。また、子どもたちの安全安心を確保し続けるため、今後予想される感染拡大の第2波への備えを進めていきます。

学力の確保という点におきましても、7月までの学習内容をフィードバックしつつ、新たな単元へのスムーズな移行がなされるよう、一人一人の学習の定着度を丁寧に見極めて、子どもたちの「できた、わかった」につなげていかれるような取組を進めます。

結びとなりますが、この半年間は、未曾有の社会情勢のもと、各園・学校が総力を挙げ、多岐にわたる問題に取り組んできました。教育委員会といたしましても、引き続き、学校支援の強化・充実に努めてまいります。